

# 平成二十九年度 活動報告

## 平成二十九年度「肥後医育 塾」年間テーマ「最新医学と 社会」を開催

常任理事(事業担当) 遠藤 文夫

県民一人ひとりが豊かで健康的な生活を送れることを目指して、(公財)肥後医育振興会、(一財)化学及血清療法研究所及び熊本日日新聞社の主催で、年間テーマに「最新医学と社会」を取り上げ、三回の市民公開セミナー(第六十一回、第六十三回)をホテル熊本テルサ、ホテル日航熊本で開催するとともに、毎回、熊本日日新聞紙上で「肥後医育塾特集」を二ページに亘って内容を紹介しました。

さらに、熊本地震の状況を振り返り、課題を明らかにすることで今後の啓発へとつなげるために、熊本地震血栓塞栓症予防プロジェクトと共催で臨時の肥後医育塾を開催しました。

近年、わが国の医学の進歩は著しいものがありますが、死因の第一位である「がん」は、年々増加傾向にあるのも事実です。中でも「肺がん」や女性の「乳がん」は死因の上位を占めており、これらに対する新たな治療法に期待が寄せられています。

そこで、平成二十九年度は「最新医学と社会」をテーマに、年間三回のセミ

ナーを開催しました。それぞれ「呼吸器医学」、「乳がん」、「歯科治療」を取り上げ、専門医の先生方から分かりやすく解説していただきました。

第六十一回は、十月七日(土)にホテル熊本テルサにおいて、「呼吸器病医療の進歩と社会」と題して開催しました。

呼吸器病の中でも、肺がんは新しい治療法として「がん免疫療法」が注目されるなどその治療法は大きく進歩しています。本セミナーでは、呼吸器疾患の専門の先生方に日々進歩を続ける治療方法などを紹介していただきました。また、たばこによる肺障害をなくし、いつまでも快適な呼吸を維持できるための情報も提供していただきました。第二十七回国際喘息学会日本・北アジア部会と共同で開催しました。

講演では、司会を肥後医育振興会常任理事の遠藤文夫が務め、座長を社会保険大牟田天領病院院長・熊本大学名誉教授の興梠博次先生にお願いしました。

講演の一番目は、熊本大学大学院生命科学研究所呼吸器外科学分野教授の鈴木実先生から「肺癌治療の最前線 外科治療」と題して、どのような症例が手術に適しているか、手術の方法は、どれくらいで日常生活に戻れるのか、治る可能性等、わかりやすくお話ししていただきました。

講演の二番目は、熊本地域医療センター総合診療部長の柏原光介先生から「肺癌治療の最前線 内科治療」と題し

て、肺がん治療は抗がん剤治療の時代から、肺がんの遺伝子やタンパクを調べて分子標的薬剤や免疫チェックポイント阻害剤を使用する個別化治療に変わってきたことなどについて講演をいただきました。

講演の三番目は、熊本大学大学院生命科学研究所放射線治療医学分野准教授の東家 亮先生から「肺癌治療の最前線 放射線治療」と題して、手術に匹敵する最新の高精度放射線治療から症状緩和の放射線治療まで、患者にとつて放射線治療が役に立つ場面を紹介いただきました。

講演の四番目は、たかの呼吸器科内科クリニック院長の高野義久先生から「大気汚染と喫煙と社会」と題して、喫煙は、慢性閉塞性肺疾患(肺気腫)、肺がん、心臓血管疾患の原因となりますが、なぜ多くの疾患に関係するのか、また、受動喫煙の影響を避けるために私たちはどうすればよいのかについて講演をいただきました。

講演の五番目は、熊本中央病院呼吸器内科部長の平田奈穂美先生から「喘息とCOPD(たばこ肺)治療の最前線」と題して、喘息は発作治療よりも発作を起こさないように予防的に吸入などの治療を行うことが重要であり、COPDではまず禁煙、そして吸入薬の治療やリハビリテーションなどを行い、なるべく活動的な生活を送ることが重要とされている。今回は、病気の基本的な考え方や治療の

仕方、最近行われるようになった重症喘息に対する新しい治療などについて講演をいただきました。

講演終了後の質疑応答は、あらかじめ寄せられた質問に講演者が答える形で行了いました。約二五〇人の来場者があり、内容を、十一月三日の熊本日日新聞紙面に掲載しました。

第六十二回は、十月二十九日(日)にホテル日航熊本において、「正しく知ろう乳がんのこと―診断から緩和ケアまで―」と題して開催しました。

日本人の乳がん患者は年々増加傾向にあり、今では女性十一人に一人が生涯のうち乳がんを発症すると言われています。本セミナーでは、遺伝する乳がんのことから、大きく変化した乳がん治療、抗がん剤の副作用管理、緩和ケアについて紹介していただきました。第二十五回日本乳癌学会学術総会と共同で開催しました。

講演では、司会を肥後医育振興会常任理事の遠藤文夫が務め、座長を熊本大学大学院生命科学研究所乳腺・内分泌外科学分野教授の岩瀬弘敬先生にお願いしました。

講演の一番目は、熊本大学医学部附属病院乳癌分子標的治療学寄附講座特任准教授の指宿睦子先生から「乳がんは遺伝するの?」と題して、「先祖代々」「次の世代へのリレーメッセージ」として講演をいただきました。

講演の二番目は、熊本大学大学院生命科学研究所乳腺・内分泌外科学分野准教